

元祖油そば

唐揚げ油そば



信念と行動力

皆さん、こんにちは！これからまた慌ただしい時期になってしまいます。が、高い意識を持ちながり日々を過ごせているでしょうか？コストの上昇、人材採用難・育成難といった課題はありますが、より付加価値の高い、目の前のお客さまに喜んでいただける仕事をすること以外に解決策はありません。毎日NHKの実践をいつも自分自身に問いかけました。

昨年、当社の顧問をお願いしている社労士の中尾先生と今後の労務管理と評価制度、国内の人材環境について相談とシステムのプレゼンをしていただきました。それから忘年会となつたのですが、忘年会場への道すがら、「なぜ稻盛さんがJALの再生といつた難しい仕事を成し遂げられたのか」についての話となりました。

僕は「結論を言つてしまえば、稻盛さんだからできたことだと思います」と答え、先生も納得されました。実際、JAL再生を引き受けられたというニュースが流れたら、数名の知り合いから、「岡本君が盛和塾で勉強しているのは知っているけど、さすがにJAL再生はムリだと思う」といわれました。正直なところ、僕自身もJALのような官僚的な組

織を再生させられるのは稻盛さんしかいないとは思いながら、果たしてどれくらいの時間が掛かるものか、想像もつきませんでした。それがわずか二年程度の時間で、航空業界で世界一の利益率を達成したばかりか、それ以前は慇懃無礼で感じの悪かった接客態度が一変するのを目の当たりにしました。

稻盛さんは、政府からも度重なる要請を何度も断りながらも、JALという会社に関わる人たちのことを考えて、最終的に引き受けられました。当初、週に三日程度ということでしたが、自宅のある京都を離れ、毎日東京のホテルに泊まりこみ、無報酬で、朝から晩まで仕事をし、質素な食事をオフィス・ホテルで摂る姿を見たJALの社員たちが何かを感じ、変わつていつたということです。

純粹で気高い思いほど強い力はありません。そして、こういったことを知識としてわかつていながら、実行できないのは、辛酸を舐め、苦しんだ経験が足りないから、魂の叫びまでに高めることができず、知識だけに終わってしまうのです。自分の信念を高め、いつでも行動にそれが出ていれば、必ず自分の周りの人たちに伝わっていきます。大切なもののから目をそらさないようにしましょう。

(岡本 慶大)

経営コンサルの独り言 Vol.144

眞面目にふざける。

『お詫び』先月と今月の原稿が編集の不手際により入れ違いが発生いたしました。お詫び申し上げますとともに、今後このようなことのないよう尽力いたします。(編集部)

皆さまこんにちは♪ 今回は、思わずクスッと笑えるお話を紹介しましょう。宜しかったらぜひ、最後までお付き合いください。

◆カミさんと占いの館に入ったときのこと。占い師から、何が聞きたいかを尋ねられ、思わず『異性運♪』と答えてしまった私。その帰路は、物凄く険悪な雰囲気になったのは言うまでもありません。今の妻 譲れば良かった 恋敵、。

◆夜の街で職務質問されたときの話。女性警官から「仕事は?」と聞かれ、『泥棒です。恋泥棒♪ 盗まれないようにね(笑)』と返した当社社員。意外なことに、直ちに切り上げられました。

◆誰がどう見ても20歳以上の女性客に対して、「すみません、未成年かわからないお客様には身分証明書提示をお願いしていまして…」と確認している居酒屋は、いつも多くの女性で賑わっています。

◆「お母さん?、俺だよ、おれ!」という振込詐欺に対して、『お前、約束の日が過ぎたのに、いつ金を返してくれるんだい?金利取るよ!』とブチ切れたお袋。

◆ファミレスのこと。母がカルボナーラと間違って、『ボラギノールお願いします♪』と、きばりながら叫んでしまいました…。

◆『携帯番号、下八桁教えてよ～♪』昔はこれでナンパができましたが。

◆『暑いから扇風機買ってきたけど、オレンジ色に光って汗が止まらない。』そういうて祖父は、ハロゲンヒーターを買ってきけど、形が似てるから仕方ないです。

◆CoCo壱番屋で昼飯吃てるときのこと。インド人っぽい人が入ってきて、店内に緊張が走ったのは何故でしょう。

◆出張中の大阪で、100円たこ焼きのぼり看板を目にしたので、試しに買ったんですね。で、タコが全然入ってなくて、店のオッサンに文句を言うと、『タイヤキに鯛が入っているんか?おお?』と言われたと言う話しを聞きましたが、真偽の程は定かではないです。

◆むかし、うちの爺さんが犬を捨てに行ったら、犬の方が爺さんよりも先に帰ってきました。

◆サラリーマンのころ、上司が電話番号案内の104に掛けた

とき、「どういう漢字でしょう?」と聞かれ、『おもしろくて明るい感じの人です』と、真顔で答えてました。

◆同じ上司なのですが、酔っ払って吉野家で、「つゆだく」と言う所を『つゆだけ』と言って、出て来たのが本当につゆだけでした♪。聞けば、既に注文したお客様に限った無料サービスだそうです。

◆また同じ上司なのですが、勤務時間中に急いでメガネを作りに行ったときのこと。店員さんが注文書を書きながら「無色ですか?」とレンズの色を聞いてきたのに対して、『いや、会社員です!』と思い切り答えたらしい。

◆さらに同じ上司なんですが、『俺はもう絶対にギャンブルなんかしねえんだ。賭けてもいいぜ!』と言っていました。因みに彼は、『俺は差別と黒人が嫌いです!』とお客様にご機嫌に言った現場を目の当たりにした私の気持ちが解りますか?(笑)

◆結婚した学友から先月年賀状が来たのですが、『性が変わりました♪』って、どういうことでしょう…あっ?、そういうことか!

◆お風呂に入浴剤を投入したつもりが、ふたを開ければ卵スープの美味しそうな香り。でも、意外に肌には良さげで。。

◆クリーニング店で並んでいたら、前のお客さんが「今、セール中ですか?」と受付のおばさんに聞きました。これに対して、『いえいえ、もう去年終わりました』と返していました。彼女はどうやら、「今、生理中ですか?」と聞き間違えたようです。

◆当社では、『どのズラ下げて、言うの?!』って、間違っていってはいけない人が2名いますが、貴方の周りにはいませんか?

◆マックの全国共通裏メニュー。レジで『スマイル2つ♪』と発声すると、スタッフがふたりで目を見てニコってくれます。3つは未だ試していません。

今回はこのあたりで。自宅にホームステイし、自宅警備をしていた一級在宅士の親戚が今年独立起業しました。学卒後一度も就労せず、永年ネット検索官として下積み生活を送ってきた彼ですが、気が付いたら四か国語を話せるようになっており、ソフト構築関連の知識も蓄え、その成果が開花したようで、今は代表戸締役社長として三人で活躍中です。平均寿命が延伸している中、今の時代、目先の成果を求めるために不必要に焦ることはなさそうですよ。

(株式会社システムコンストラクション 清野 秀道)

[発行] リズム食品株式会社

〒802-0081
北九州市小倉北区紺屋町13番1号
毎日西部会館7F
TEL:093-531-1120 FAX:093-533-0122
E-mail : news@rhythm-food.co.jp



1月28日(株)一生懸命焼き飯コンテスト



おいしい焼き飯をこれからも作ってください♪

平成
30年

焼き飯グランプリ結果

① 最優秀ワンダホー！賞

風風ラーメン黒崎店 渡部 洋 マネージャー
やったー！いつ何時、誰の挑戦でも受ける！

② 準優勝

風風ラーメン下曽根店 川畑 晴代さん

決勝の場所が自店だったのが大きかったと思います。これからももっと美味しい焼き飯を提供できるよう日々努力していきます。

審査員特別ワンダフル賞

風風ラーメン下曽根店 安部 大幾さん

いつも丁寧に先輩たちに教えていただいてもらえた賞なので、これからしっかりお返ししていきます。

冬にもかかわらず、今年もとても熱い日がやってきました。年に一度の大イベント。めざせワンダホー！焼き飯グランプリを行ないました。この大会の目的は、焼き飯のナンバーワンを決めるとともに、全員の焼き飯レベルの向上です。日ごろのレシピチェックはもちろん、大会中の、自身の焼き飯の味のチェック。他のメンバーの焼き飯作りを見て、自身の改善、工夫につなげます。大会では①盛り付け、②味、③手際、④表情の4つのポイントで評価し、順位を決めます。多くのメンバーが見守る中での調理で、緊張感漂う中、全員がもてる力を存分に発揮し、目指すは、1番、日本一！を目標に、一生懸命に、試合にのぞんでくれました。



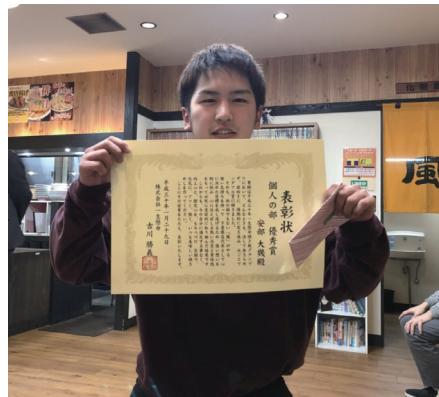
ファイナリストの皆さん



最優秀ワンダホー！賞渡部マネージャー



川畑さん



安部さん

今回は、大寒波到来後の池袋にて西日本、東日本のオーナーさまに足元悪い中、集まっていただき、開催しました。新たに沖縄の具志川店のオーナーさまにもお越しいただき、食事の席で色々な意見交換や問題提起などいただき、考えさせられる会となりました。ただ、私にとってはまだ3回めのオーナー会参加でしたが、皆さん真剣に風風ラーメンのことを考え、良くしていきたいという想いや、言葉に温かさを感じることができました。また、教育担当の寺脇が当日誕生日と言うことで、サプライズで歌っていただくななど、フランチャイズチェーンではなく、ファミリー・チェーンという言葉がピッタリだと感じました。これからもお互いが理解し合い、しっかりと話し合いのできる関係性を大事にし、風風ラーメンを盛り上げるために本部として何ができるのか?しっかり考え、行動していきます。

(FCサポート本部 久保 美由樹)

1月24日 FCオーナー会・懇親会



2月10・11日 一麺亭合同ミニNHKK研修

今回のテーマは「つなぐ」ということで、一麺亭全体で手を取り合い、つなぎあってがんばっていきたいという橋本サブマネージャーの気持ちが込められており、他店のメンバーと混合のグループで、「感謝は返謝」についてのグループワークをし、グループ対抗「八大接客用語コンテスト」を実施しました。それぞれがコミュニケーションを取りながら、短い時間ですが一生懸命取り組んでいました。最後はニコニコ笑顔でワイワイ言いながら、仲間の良いとこ探しをしました。研修でもお伝えしましたが、感謝は人に同じ喜びを与える、言葉や行動でお返しすることで完成です。自分の持つ感謝を相手にしっかりと届けていきましょう。「ありがとう」が届けば、きっとお客様や仲間も自分も幸せな気持ちになれます。創業祭、そして日々の営業でお客様へのありがとう、仲間へのありがとうを届けていきましょう!

(FCサポート本部 サブマネージャー
寺脇 美保)

